

竹あかりを見に来てくれた熊本の友人と記念撮影。
人気のハートのモニュメントは、石狩市民花火
大会でもフォトスポットとして活用されました。



竹あかり

×

ワークショップ

来年6月の「竹あかり」開催に向けて、
「まちフェス」でワークショップを実施します！



熊本でつけた竹ひご
の丸い竹あかり。吊り
下げて楽しむ演出を、
厚田でも取り入れてみ
たいです。

来年6月のイベントに向
けた竹あかり。今月8(日)
の「まちフェス」では、穴
の位置を考えるワーク
ショップを開催♪



こんにちは！ 厚田地域おこし協力隊の清水です。
5月号でご紹介した厚田展望台「恋人の聖地」
のライトアップイベントでは、竹に開けた穴から優
しい光がこぼれる「竹あかり」が、厚田の夜を幻想
的に彩りました。



厚田地域おこし協力隊
清水 瀬菜さん

プロフィール ■熊本県熊本市出身。
2025年3月から現職に着任。道の
駅石狩「あいーど厚田」で運営支
援を行うほか、集客イベントや特産
品開発などにも取り組み、厚田の大
自然に触れながら、皆さんの役に立
てるよう地域に根差した活動をして
います。

その第二弾が来年6月に開催予定で、すでに準備
も始まっています。もともと多くの方と一緒に竹あかり
を作りたいという思いから、8日(日)開催の「第7回
まちフェスいしかり」(22ページ参照)には、「厚田
竹あかり工房」として出展することになりました。
今回は、竹に穴を開けるための「型紙づくりワー
クショップ」を行います。竹にあかりがもった時の
姿を想像しながら、「こんな模様があらうたらすて
き！」というモチーフを自由に考えます。魚や花、月
のほか、厚田らしい「シシ、海、夕日」など、アイデアは
何でも大歓迎。絵を描くことが得意でなくても大丈
夫。子どもから大人まで、気軽に参加できます。
皆さんが考えたモチーフが実際の竹あかりに
採用され、来年、厚田の夜を照らすかもしれません。
一人一人のアイデアが一つの光になり、その光
が集まって新しい厚田の風景をつくる——まち
フェスのテーマ「つながる、つながるまち、未来」に
もぴったりのイベントです。
「まちフェス」では、ぜひ「厚田竹あかり工房」にも
お立ち寄りください。皆さんと一緒に、次の竹あか
りを作ることを楽しみにしています！

広告

広告